

令和2年大船渡市教育委員会第1回定例会会議録

1. 日 時

令和2年1月24日（金） 午後2時00分から午後3時15分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	熊 谷 テイ子
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀

4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	金 野 高 之
生涯学習課長	熊 谷 善 男
学校教育課長	市 村 康 之
生涯学習課長補佐	新 沼 裕 一

5. 議 事

議案第1号 大船渡市スポーツ推進審議会委員の解任に係る臨時専決処理に関し承認を
求めることについて

議案第2号 大船渡市文化財調査委員の任命に関し議決を求めることについて

協議第1号 大船渡市教育委員会が所管する事務の市長部局への移管等について

6. 報告事項

(教育次長)

① 学校統合推進協議会の進捗状況について

(生涯学習課長)

① 令和2年大船渡市成人式の実施結果について

② 令和元年度市民講座の実施結果について

③ 令和元年度大船渡市立博物館教育普及事業 体験学習会「土偶をつくろう！」の実
施結果について

④ 令和元年度大船渡市立博物館特別陳列事業 「大船渡・縄文の魅力」の開催につい
て

⑤ 令和元年度大船渡市生涯学習推進のつどいの開催について

⑥ 大船渡市地区公民館並びに地域公民館役職員等への感謝状の贈呈について

(学校教育課長)

- ① 冬休みの児童・生徒の様子について
- ② 小学校児童の消防出初式参観結果について
- ③ 中生意見交換会の実施結果について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和2年大船渡市教育委員会第1回定例会の開会を宣言する。
- ・令和元年第12回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長)

- ・別紙資料等により報告する。

(生涯学習課長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別紙資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・大船渡中学校と末崎中学校の統合後の校名について、双方の地区間で意見が二分されている状態なのか。

(教育次長)

- ・大船渡地区の多くの方は、漢字表記がいいのではないかというのが基本的な考え方の方である。末崎地区の方は、前回の会議においてPTA部会から提案があった際、ひらがな表記に対し異議がなく、協議会として決定した事項であるため、それを覆すのはかなり重いことであるとの認識があり、地区によって温度差がある。
- ・統合の考え方自体に言及する部分も出てきており、意見がどのように集約されていくのか、先が見えない状況である。

(教育委員)

- ・令和3年度の統合を目指して、協議を進めていくということでもいいか。

(教育次長)

- ・基本的には、そうである。
- ・統合の実施についての基本的な考え方は一致しているが、双方の意見に隔たりがあるため、時期については言及できない状況である。

(教育長職務代理人)

- ・中学生の意見交換会では、第一中学校を主として他の3校が一堂に会し、生徒達がいい雰囲気交流している。
- ・大船渡中学校と末崎中学校も、統合まであと1年である。本来であれば、生徒同士の交流によって、お互いが一つの気持ちになり動いていかなければならない。生徒同士の交流等については、どのように進めていくのか。

(学校教育課長)

- ・第一中学校の統合を例にすると、次年度の計画を立てる際に、関係校と協議しながら交流の日程等を検討している。大船渡中学校と末崎中学校も、交流日程を設定していかなければと捉えている。協議会での話し合い如何ということはあるが、学校間では、生徒同士の交流について進めてほしい。

(教育委員)

- ・中学生の意見交換会で、統合に向けて生徒が真剣に話し合っている。周囲から動揺するような意見等が出ているが、生徒達に心情的な負担をかけたくないという思いがある。

(教育次長)

- ・おっしゃる通りである。子ども達は統合を楽しみにしていると捉えており、できるだけ前に進めたいと考えている。

(教育長職務代理人)

- ・今年は、成人式を午後の開催とした。参加者や家族参観者等の感想はいかがか。

(生涯学習課長)

- ・特に、参加者等に対しアンケート等で感想を伺ってはいない。
- ・昨年までの10時開催と比較し、準備に時間が取れ、慌ただしさがなく式が進行できたのではないかと感じている。

(教育長)

- ・来年以降も、午後に開催するのか。

(生涯学習課長)

- ・四大マラソンの日程によるが、来年以降も午後に開催したいと考えている。
- ・四大マラソンの日程は、マラソンの実行委員会や体育協会と協議を進めながら、詰めていくこととなる。

(教育長職務代理人)

- ・博物館事業「土偶をつくろう！」は、土偶への関心の高さもあり好評だった。小中学生が、このような活動を通して感動体験を味わうことは、すごく貴重な体験であり素晴らしいことだと思う。

(教育長)

- ・明日から3月22日まで、博物館において特別陳列事業「大船渡・縄文の魅力」が開催される。そちらの方も、ぜひ、お立ち寄り願いたい。

(教育長職務代理人)

- ・市民講座の受講者を幅広く募るため、日曜日にも開催した。平日勤務の方も受講できるため、良い試みだと思う。

(生涯学習課長)

- ・参加人数が少ないのが課題である。講座は素晴らしい内容であり、それを広く市民の方に知ってもらいたい。広報活動を充実していかなければならない。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。

- ・日程第2、議案第1号について、説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・日程第2、議案第1号 大船渡市スポーツ推進審議会委員の解任に係る臨時専決処理に関し承認を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第1号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第1号を原案どおり承認する。

(教育長)

- ・日程第3、議案第2号について、説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・日程第3、議案第2号 大船渡市文化財調査委員の任命に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・議案第2号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第2号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第2号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・日程第4、協議第1号、説明を求める。

(教育次長)

- ・日程第4、協議第1号 大船渡市教育委員会が所管する事務の市長部局への移管等について、説明する。

(教育長)

- ・協議第1号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・昨年度も提案しており、ある程度の部分は理解されていると思う。昨年度との違いは、生涯学習部門と中央公民館が市長部局への補助執行となることである。

(教育次長)

- ・現在、市民協働によるまちづくりを進めているところだが、地区公民館については、当面の間は存続させる見込みである。また、地区公民館との連携を図るために中央公民館があった方がわかりやすいという認識により、中央公民館を引き続き存続させ、連携にあたることとした。

(教育長職務代理者)

- ・中央公民館が協働まちづくり部の下で継続して事業を実施していくということならば、各地区公民館は、これまで通り中央公民館と連携協力しながら関係性を保って事業を進めていくことができるだろう。
- ・昨年度の提案では、中央公民館が無くなることで、各地区公民館がどのように感じるか心配していた。このような形であれば、凄くいいのではないかと思います。

(教育次長)

- ・地区公民館長の方々も不安に感じていた部分だった。中央公民館があることで安心し

て、今までの繋がりを生かしながら進めていけるのではないかと考えている。

(教育長職務代理人)

- ・来年度の「生涯学習推進のつどい」の担当は、協働まちづくり部の生涯学習課となるのか。

(教育次長)

- ・そうなる。

(生涯学習課長)

- ・教育委員会から協働まちづくり部に移るだけで、事業内容に大きな相違はない。

(教育委員)

- ・今後も連携して関わっていく必要がある。教育委員会の定例会において、生涯学習課情報や意見等を教えてほしい。

(教育次長)

- ・補助執行であるため、職務権限は教育委員会にある。折に触れ、報告及び事業等の説明はしていかなければならないと考えている。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、協議第1号について諮る。
- ・全員異議がなく、協議第1号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和2年大船渡市教育委員会第1回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理人

委員

委員

委員